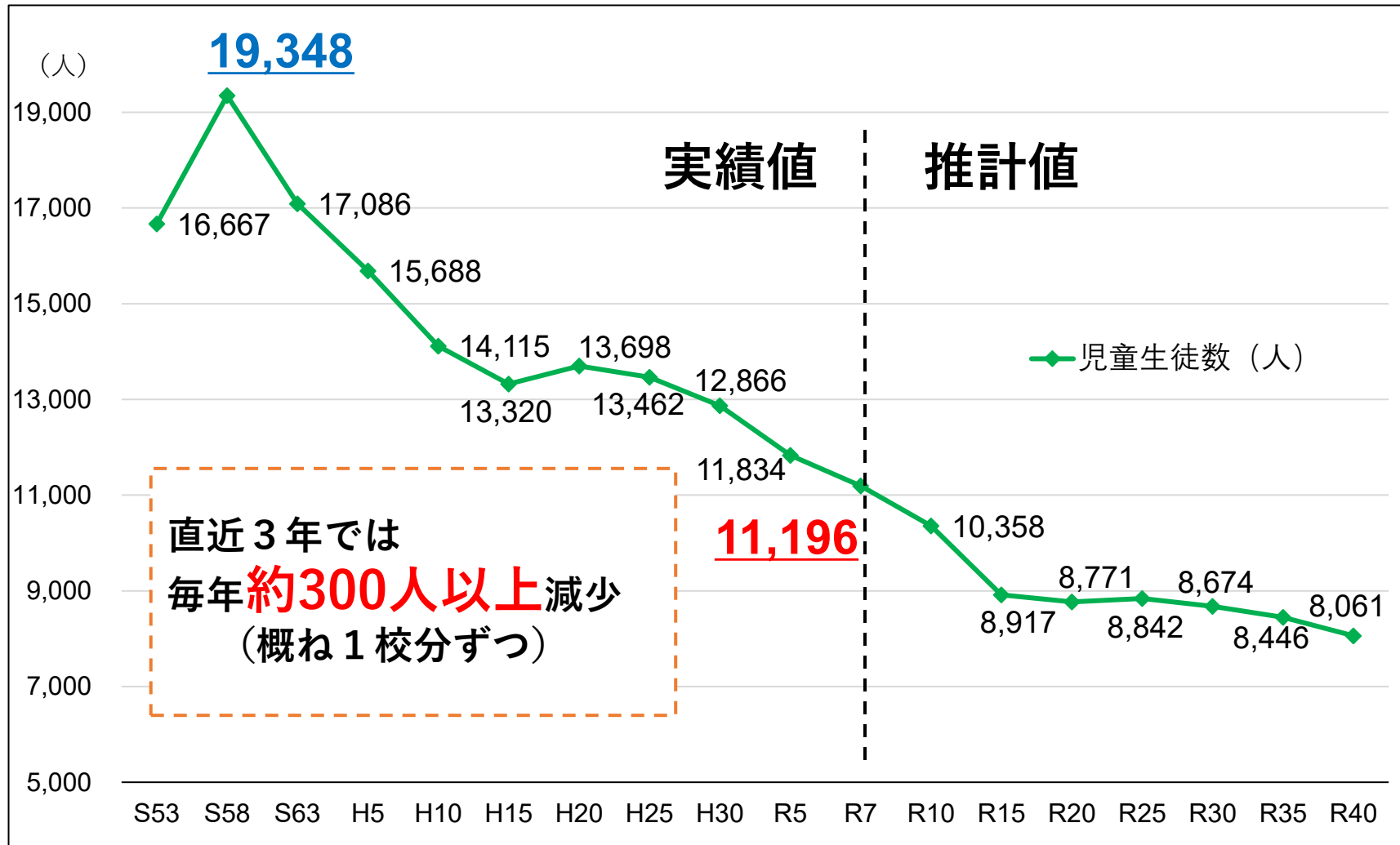


# 北里地区における 学校教育を取り巻く課題と 学校再編の方向性

2026年7月25日

1. **小牧市新たな学校づくり推進計画の策定について**
2. 北里地区の学校の現状と課題
3. 北里地区における学校再編の方向性（案）
4. 今後の進め方

- 昭和58年をピークに減少傾向、令和7年には**ピーク時の60%以下まで減少**

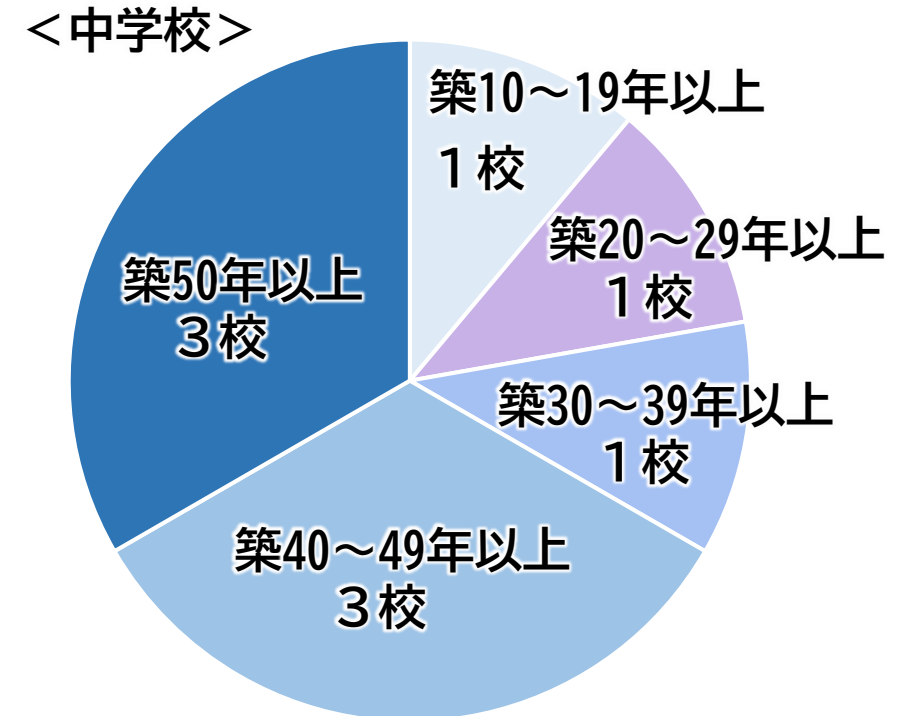
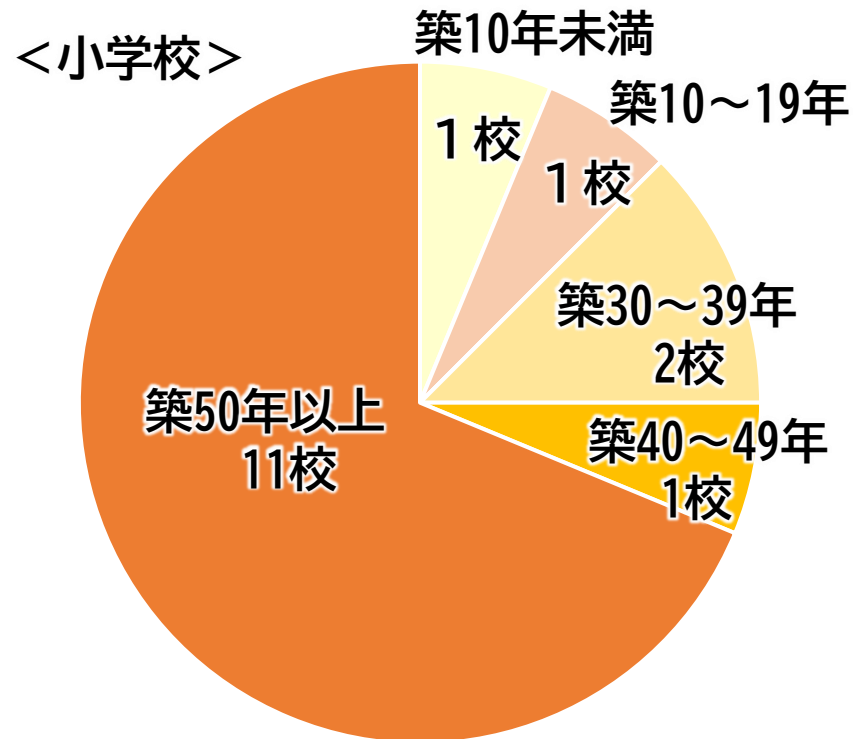


## <小学校>

- 16校中11校、全体の**約69%**が**築年数50年以上**を経過

## <中学校>

- 9校中3校、全体の**33%**が**築年数50年以上**を経過



## ○ 老朽化が進んだ学校施設の状況（例）



- 目標耐用年数内に既存する全ての学校を建て替える場合、**2年に1校ずつ**建替えを行うことになります。

[illegible]

- 学校施設の改築に係る工事費は**年々増加**しています。
- 多くの学校で老朽化が進んでおり、対策が必要な状況にありますが、市の財政が厳しさを増す中、**無理のない建替えを計画的に実施**する必要があります。

## (参考) 学校施設の改築 に係る工事費の実績



| 工事施工年度       | H23～24           | H25～26           | R2～4             | R8～11            |
|--------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 建設規模         |                  |                  |                  | (予算ベース)          |
| 建築面積 (㎡)     | 4,989            | 6,253            | 5,242            | 4,365            |
| 延床面積 (㎡) (A) | 10,624           | 11,966           | 10,853           | 8,687            |
| 敷地面積 (㎡)     | 19,967           | 29,595           | 21,712           | 19,272           |
| 工事費 (単位：千円)  |                  |                  |                  | (予算ベース)          |
| 改築工事費 (建築)   | 1,445,010        | 2,353,453        | 3,221,337        | 4,210,195        |
| 改築工事費 (電気設備) | 181,650          | 234,378          | 294,368          | 487,234          |
| 改築工事費 (機械設備) | 234,045          | 318,444          | 469,068          | 732,435          |
| 解体工事費        | 19,223           | —                | —                | —                |
| 計 (B)        | <b>1,879,928</b> | <b>2,906,275</b> | <b>3,984,773</b> | <b>5,429,864</b> |
| ㎡単価… B/A(円)  | <b>176,951</b>   | <b>242,878</b>   | <b>367,159</b>   | <b>625,056</b>   |

## 児童生徒数の減少、学校施設の老朽化

→将来を担う子どもたちに充実した教育環境が必要

R4.8 「児童生徒数が著しく減少する学校施設の統合」についてのアンケート調査

R5.1 小中学校長会、小中学校PTA連絡協議会等から「**適正規模・適正配置等の考え方の整理**」  
**などに関する要望書**の提出

R6.5 タウンミーティング【市民会館／東部市民センター】

R6.9  
策 定

## 新たな学校づくり推進計画

①子どもたちにとってより望ましい教育環境

②学校施設の適正規模・適正配置

の基本的な考え方を整理した、  
将来の教育環境整備の方針

### ■小牧市新たな学校づくり推進計画検討委員会

- ・学識経験者（大学教授等）
- ・小牧市校長会関係者 ・小牧市PTA連絡協議会関係者
- ・小牧市区長会関係者

→令和5年11月～令和6年8月 6回実施

### □小牧市新たな学校づくり推進計画調査検討部会

- ・校長代表 ・教頭代表
- ・教職員代表 ・学校教育課指導主事

→令和5年11月～令和6年5月 3回実施

○ 小牧市における学校の適正規模、適正配置の基本的な考え方は次のとおりです。

|     | 学校規模                                  | 通学距離（通学時間）                            |
|-----|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 小学校 | 1校あたり <b>12～24学級</b><br>（1学年あたり2～4学級） | 概ね <b>4 km以内</b> （ <b>1 時間以内</b> ）を目安 |
| 中学校 | 1校あたり <b>12～24学級</b><br>（1学年あたり4～8学級） | 概ね <b>6 km以内</b> （ <b>1 時間以内</b> ）を目安 |

○ 適正規模の条件を満たさない学校については、小規模校・大規模校の課題の解消に努めますが、**地域の事情に応じて、弾力的に運用**することとします。

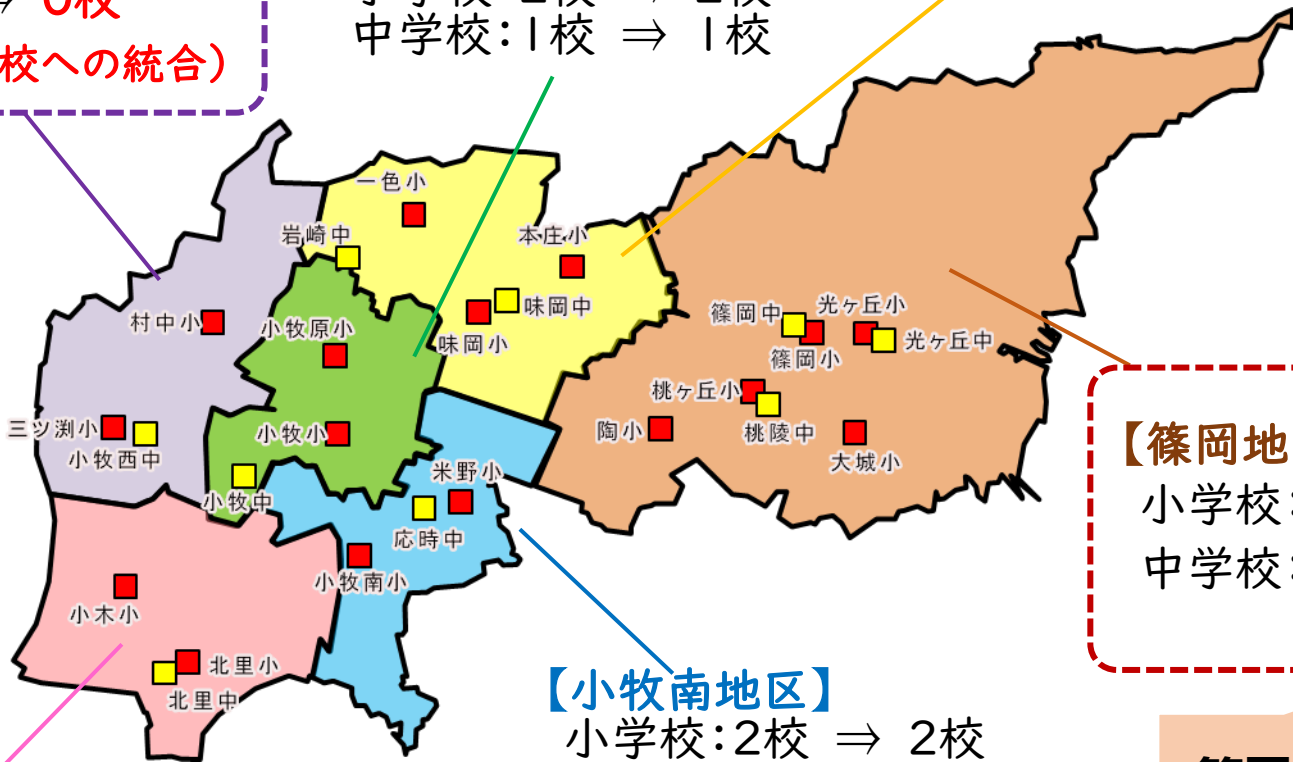
【巾下地区】  
小学校：2校 ⇒ 1校  
中学校：1校 ⇒ 0校  
(隣接地区の中学校への統合)

【小牧地区】  
小学校：2校 ⇒ 2校  
中学校：1校 ⇒ 1校

【味岡地区】  
小学校：3校 ⇒ 2校  
中学校：2校 ⇒ 2校

今後の対応を早急に決める  
必要があるとした地区

- ・ 巾下地区
- ・ 篠岡地区
- ・ 北里地区



【北里地区】  
小学校：2校 ⇒ 1校  
中学校：1校 ⇒ 1校

【小牧南地区】  
小学校：2校 ⇒ 2校  
中学校：1校 ⇒ 1校

【篠岡地区】  
小学校：5校 ⇒  
中学校：3校 ⇒

児童生徒数の  
状況により  
段階的に  
再編を行う

⇒ 1校  
⇒ 1校

篠岡地区学校再編計画に基づき  
令和9年4月より  
小学校：2校  
中学校：2校  
に再編

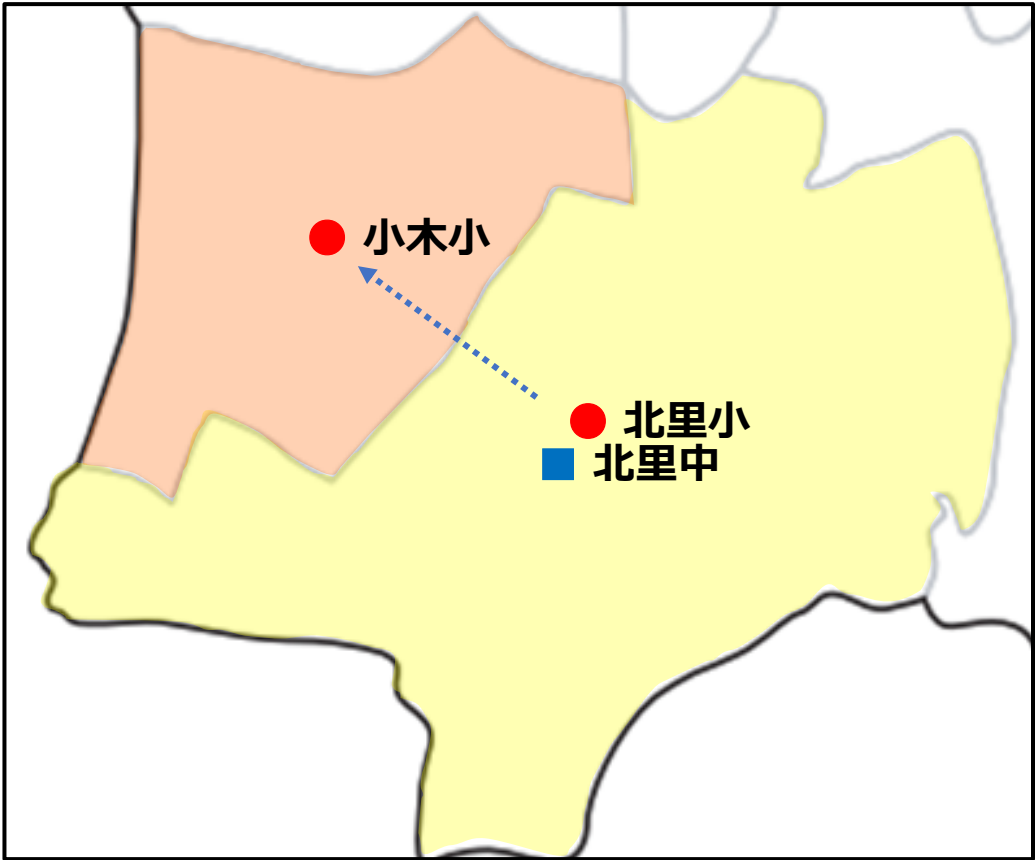
- 「新たな学校づくり推進計画」では、義務教育9年間の学びと育ちをさらに繋いでいくため、**学校の再編に伴い建替えを行う際には**、可能な限り、**小中一貫型小学校・中学校（小中一貫校）の設立**を視野に、**小中一貫教育の導入を検討**することとしています。
- これにより義務教育課程における学びの連続性を高めつつ、**今後の厳しい財政状況にあっても、子どもたちの教育環境を維持し続ける**ことができると考えます。



1. 小牧市新たな学校づくり推進計画の策定について
- 2. 北里地区の学校の現状と課題**
3. 北里地区における学校再編の方向性（案）
4. 今後の進め方

- 北里地区は、昭和50年以前は北里小・中学校の1小1中体制でしたが、児童生徒数の急激な増加に対応するため、「北里小学校」からの分離開校により「小木小学校」が誕生し、現在の2小1中の体制となりました。

| 年     | 沿 革                                       |
|-------|-------------------------------------------|
| 明治41年 | 「北里小学校」 創立                                |
| 昭和22年 | 「北里中学校」 創立                                |
| 昭和38年 | 小牧市への合併に伴い<br>現学校名に改称<br>※校区の一部（薬師寺地区）が分離 |
| 昭和50年 | 北里小学校の校区を分離し<br>「小木小学校」が開校                |



- 現在の児童生徒数は小木小学校の開校当時（昭和50年頃）の規模を大きく下回っており、**昭和40年頃（1小1中）の規模に近づいて**きています。

【令和8年4月時点の児童生徒数】

| 学校名 |     | R8年度 |    |    |    |    |    |     |
|-----|-----|------|----|----|----|----|----|-----|
|     |     | 小1   | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 計   |
| 北里小 | 児童数 | 55   | 67 | 76 | 70 | 64 | 78 | 410 |
|     | 学級数 | 2    | 2  | 3  | 2  | 2  | 3  | 14  |
| 小木小 | 児童数 | 45   | 48 | 50 | 49 | 54 | 50 | 296 |
|     | 学級数 | 2    | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 12  |

| 学校名 |     | R8年度 |     |     |     |
|-----|-----|------|-----|-----|-----|
|     |     | 中1   | 中2  | 中3  | 計   |
| 北里中 | 生徒数 | 140  | 109 | 133 | 382 |
|     | 学級数 | 4    | 4   | 4   | 12  |

（参考）分離前後の児童生徒数

昭和40年

北里小：521人

北里中：287人

昭和49年

北里小：1,367人

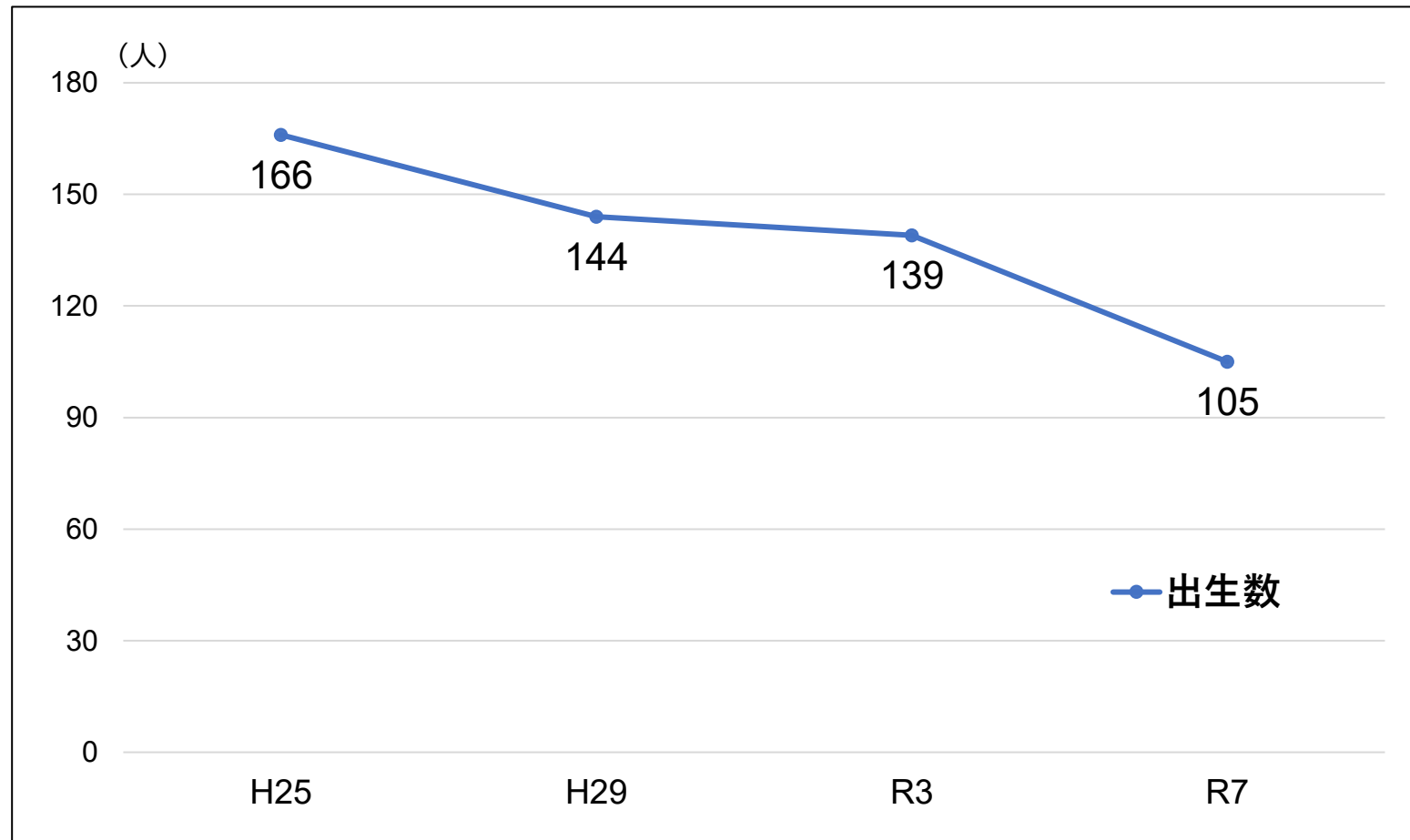
北里中：456人

昭和51年（小木小開校後）

北里小：931人 小木小：735人

北里中：536人

- 北里地区の出生数は**緩やかに減少**しており、今後も**児童生徒数の減少傾向が続いていく**ことが見込まれます。



※ 住民基本台帳に基づく

- **北里小学校と北里中学校**では**築年数60年以上**を経過するなど、特に**老朽化が著しい**
- **小木小学校**においても、**築年数50年以上**を経過しており老朽化が進んでいる状況

＜小学校＞

| 学校名        | 築年数       | 地区        |
|------------|-----------|-----------|
| 篠岡小        | 68        | 篠岡        |
| 三ツ渚小       | 65        | 巾下        |
| <b>北里小</b> | <b>64</b> | <b>北里</b> |
| 村中小        | 62        | 巾下        |
| 味岡小        | 60        | 味岡        |
| 米野小        | 57        | 小牧南       |
| 一色小        | 57        | 味岡        |
| <b>小木小</b> | <b>52</b> | <b>北里</b> |
| 小牧原小       | 51        | 小牧        |
| 本庄小        | 51        | 味岡        |
| 桃ヶ丘小       | 51        | 篠岡        |
| 陶小         | 42        | 篠岡        |
| 光ヶ丘小       | 39        | 篠岡        |
| 大城小        | 37        | 篠岡        |
| 小牧小        | 15        | 小牧        |
| 小牧南小       | 5         | 小牧南       |

＜中学校＞

| 学校名        | 築年数       | 地区        |
|------------|-----------|-----------|
| <b>北里中</b> | <b>63</b> | <b>北里</b> |
| 篠岡中        | 61        | 篠岡        |
| 応時中        | 53        | 小牧南       |
| 岩崎中        | 49        | 味岡        |
| 桃陵中        | 45        | 篠岡        |
| 小牧西中       | 44        | 巾下        |
| 光ヶ丘中       | 37        | 篠岡        |
| 小牧中        | 29        | 小牧        |
| 味岡中        | 12        | 味岡        |

(令和8年 5 月 1 日現在)

目標耐用年数  
80年以内

1. 小牧市新たな学校づくり推進計画の策定について
2. 北里地区の学校の現状と課題
- 3. 北里地区における学校再編の方向性（案）**
4. 今後の進め方

- 児童生徒数の減少傾向は続くと思われる中、**将来にわたって、子どもたちの教育環境を維持**していくため、**学校再編の取組は必要**である。
- 一方、今後の児童生徒数の見込みなどから、現在、学校再編を進めている篠岡地区のような**既存校舎等を活用しての早急な再編の必要はない**。
- 他方、地区内のすべての学校で施設の老朽化が進んでおり、**校舎の建て替えに関する議論については、すぐにでも必要**な段階にきている。



**校舎の建て替え（施設整備構想）と  
学校の再編（学校再編計画）を一体的に議論**

○ 学校施設の建て替えには、施設整備にかかる・・・

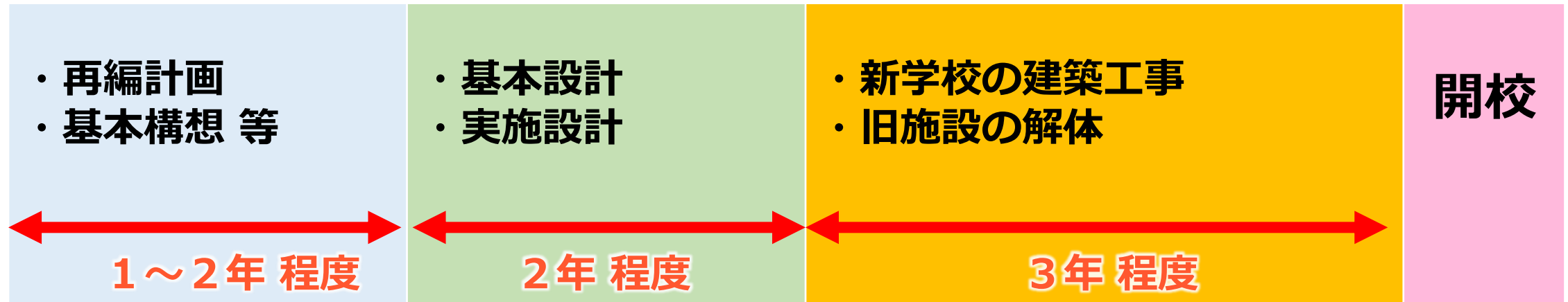
①**基本構想・基本計画**（建物のコンセプトや方向性の策定 など）

②**基本設計**（施設デザインとレイアウトの作成 など）

③**実施設計**（工事のための詳細図面の作成 など）

といった手順を踏む必要があることから、構想の策定から学校の開校まで  
**早くとも6年程度の期間**が必要となります。

## ◇開校までのスケジュール感



これらを踏まえ・・・

- 北里小学校、小木小学校、北里中学校の3校を1校に再編し、**北里小学校と北里中学校の敷地**に**新たな学校を設立**する
- 新たな学校は、「小牧市新たな学校づくり推進計画」に則り、**小中一貫校の設立**を前提として協議・検討を進める

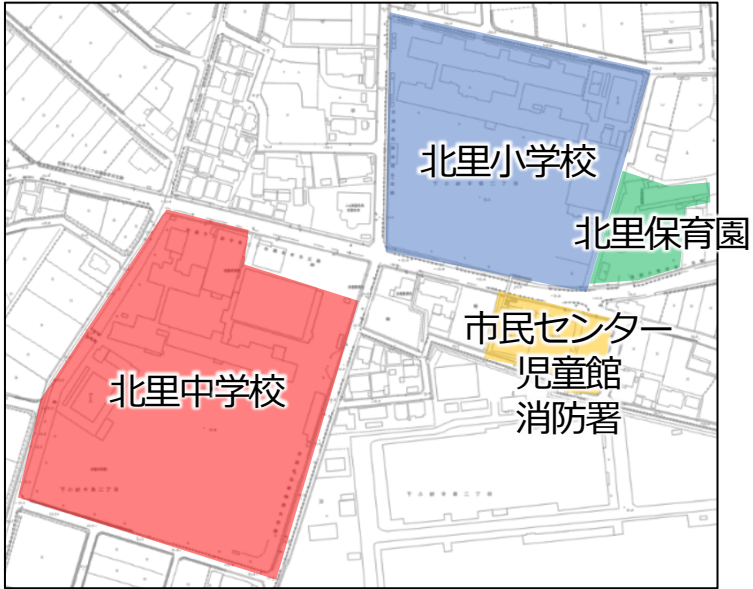


ことを、北里地区における学校再編の大きな方向性とします。

- 宅地造成に伴う児童生徒数の増加により「小木小学校」が開設するまでの間、長らく「北里小学校」と「北里中学校」の1小1中であった歴史的背景があるため。
- 北里小・中学校の周辺には、**保育園、児童館、市民センター、消防署が隣接**しており、**学校活動の連携**が期待できるため。
- 北里小・中学校の**敷地を一体的に活用することで、学校活動の幅を広げることができる**ため。

|      | 北里中     | 北里小     | 合 計     |
|------|---------|---------|---------|
| 敷地面積 | 24,868㎡ | 17,894㎡ | 42,762㎡ |

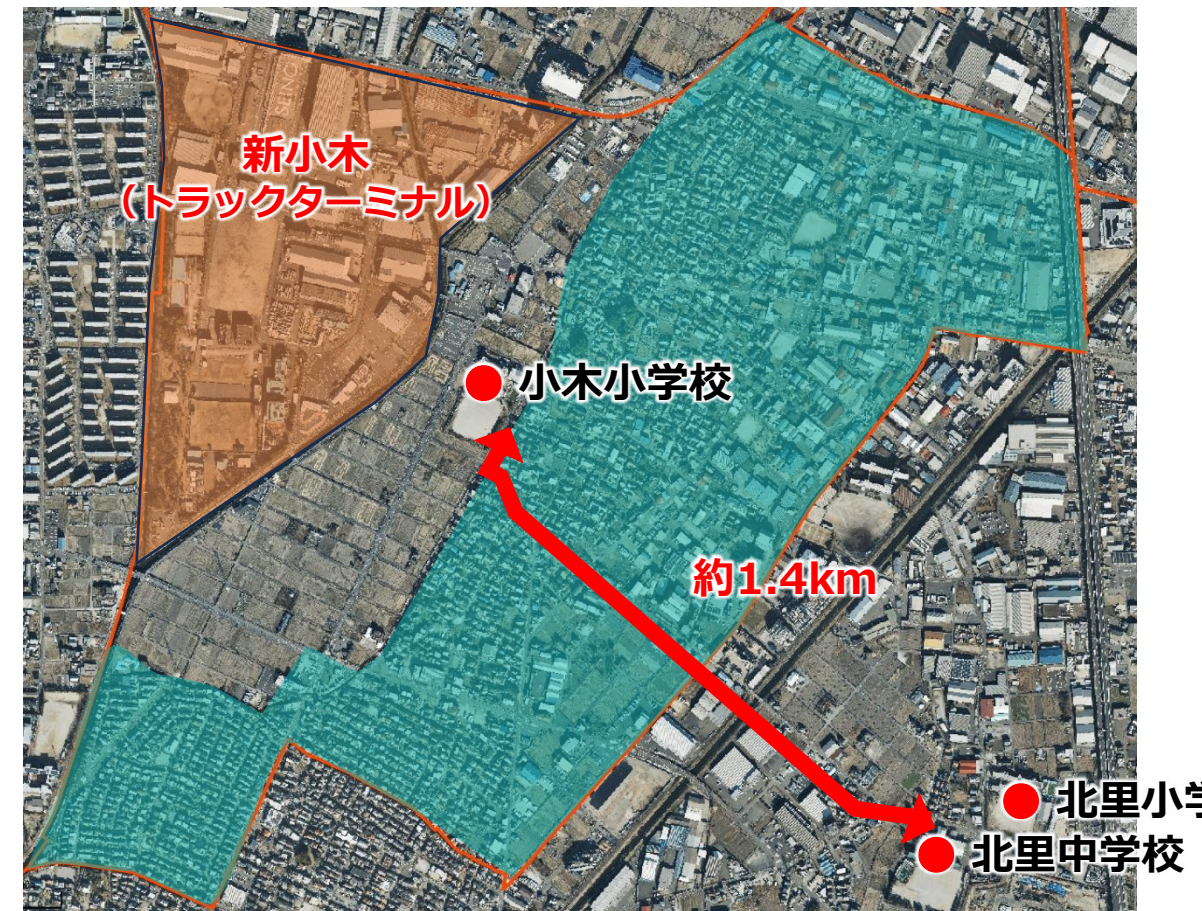
<北里中学校の周辺図>



- 現在の北里中学校の通学路を活かすことで、再編後も子どもたちの通学の安全を確保しやすく、わかりやすい通学路を示すことができる。
- 小木小学校の児童の多くは北里小学校寄りの地域から登校するため、再編後の通学の負担を軽減しやすい。

## (参考)

小木小学校から  
北里中学校までの距離 約1.4km



## 再編後の児童生徒数・学級数の推計（R15年度）

### <小学校>

| 学校名  |     | R15年度 |     |     |     |     |     |     |
|------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|      |     | 小1    | 小2  | 小3  | 小4  | 小5  | 小6  | 計   |
| 新小学校 | 児童数 | 103   | 105 | 118 | 107 | 112 | 115 | 660 |
|      | 学級数 | 3     | 3   | 4   | 4   | 4   | 4   | 22  |

### <中学校>

| 学校名  |     | R15年度 |     |     |     |
|------|-----|-------|-----|-----|-----|
|      |     | 中1    | 中2  | 中3  | 計   |
| 新中学校 | 生徒数 | 112   | 115 | 117 | 344 |
|      | 学級数 | 4     | 4   | 4   | 12  |

（注）R15年度に再編を行うというものではありません。

1. 小牧市新たな学校づくり推進計画の策定について
2. 北里地区の学校の現状と課題
3. 北里地区における学校再編の方向性（案）
- 4. 今後の進め方**

○ 今後、「**学校を考える会**」の中では主に以下の3点について、**令和9年度中**を目標として、協議・検討を進めます。

- ① 学校再編の具体的な方策等をまとめた「**北里地区学校再編計画（案）**」の取りまとめ
- ② **小中一貫校の設立**に向けて、期待される効果や解決すべき課題等の洗い出しと「学校再編計画（案）」への反映
- ③ ①、②を踏まえ、学校施設の整備に関するコンセプトなどをまとめた「**基本構想・基本計画（案）**」の取りまとめ

※①～③に関して、「学校を考える会」の他、地域や保護者、児童生徒などを対象としたアンケートやワークショップ等も実施予定

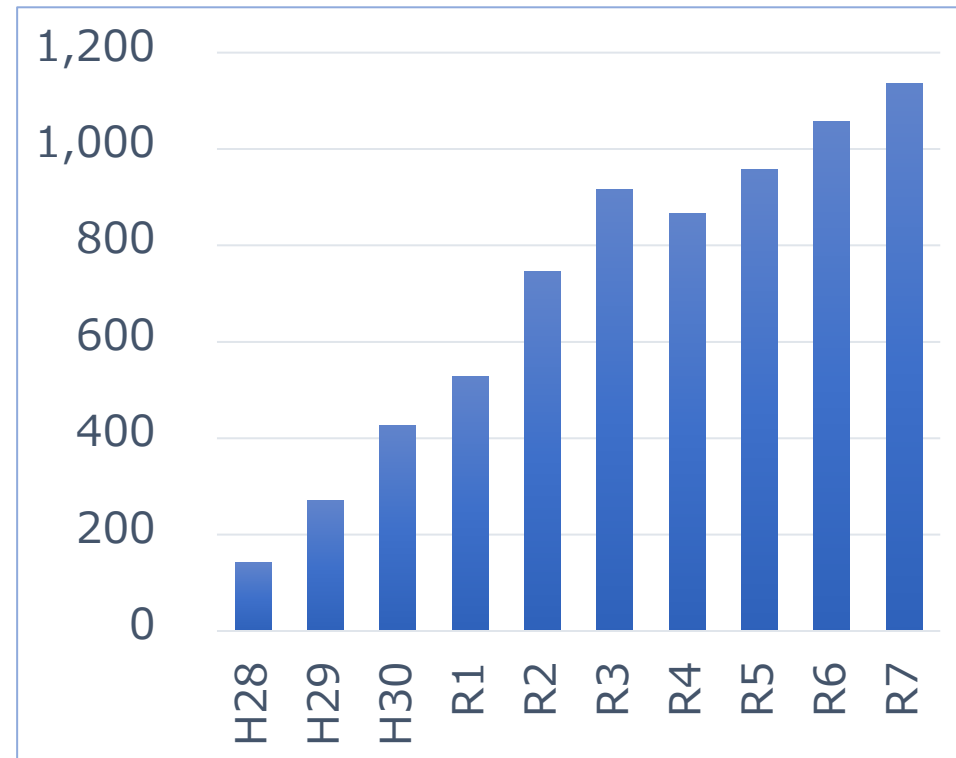
- 本市では小中一貫校の設置事例はありませんが、**一般的には以下のようなメリット**があると考えられており、小中一貫校が増えている状況です。

## メリットと考えられていること

- 小学校から中学校への接続がスムーズに行うことができ、**中1ギャップ**、**不登校の減少**につながりやすい
- 小学校時の学習で定着しきれなかった内容を中学校の課程において補いやすくなるなど、**系統的・継続的な学習**によって教育効果が高まりやすい
- 異年齢とのコミュニケーションの機会が増え、**上級生から下級生に対する思いやりの心**、**上級生・下級生の規範意識**、**下級生から上級生に対する憧れ**の気持ちなどが育まれやすい
- 小学校の時から子どもを見続けている先生が中学校にもいるなど、**学校生活への安心感**を得やすい

など

(参考) 小中一貫教育を行う学校数の推移



※学校基本調査に基づく

- 北里地区では**ほとんどの児童が北里中学校に進学**することに加え、古くからの**地縁のつながり**や、現在の**3校Pの取組**（PTA活動を中心とした北里3校間での交流や協働的な取組）が実施されていることなどから、**小・中学校の連携による教育的な効果が特に発揮されやすい**地域です。
- こうした地域の教育的な強みをさらに活かせるよう、学校再編に併せて、**義務教育9年間の連続した学びの充実**と、**小中一貫校の設立に向けた検討**を進めます。

## ▼ 義務教育9年間の連続した学びのイメージ



- 学校再編計画等の策定とその後の新たな学校の開校に向けたスケジュールについては、以下のように考えています。

